

# ★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

219号



2019年12月24日

常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

## — 都心低空飛行問題について —

### ○ 11月陳情までも不採択

諦めることなくまた都心低空飛行の愚案に対して撤回その他を求める陳情を出しました。

陳情を審議する各議員は、表記の揚げ足取りをするのではなく、区民が陳情する意図を汲み取って充分審議を尽くしてほしいものです。

### ○ 都心低空飛行問題シンポジウム 行われる

12月3日(火)19時から大井町きゅりあんで元日本航空パイロットの杉江弘さんの講演と市民団体のシンポジウムがありました。

主として3、5度の角度で降りていく危険性についての証言でしたが、国交省が挙げる3、5度実施という飛行場には大型の旅客機の発着がほとんどなく、実際は有視界飛行で2度台で着陸しているなど、私たちが知りえないことを教えられました。

国会議員も忙しいなか、駆けつけていましたが、もっと事の重大性を知って貰う必要があるでしょう。

住民投票条例の制定と実施、行政訴訟の取り組みなど各地で広がる新たな動きの訴えもありました。

### ○ 国交省の説明会

- ・1/13(月・祝) 14時~17時  
セブントウン小豆沢
- ・1/14(火) 14時~17時  
セブントウン小豆沢
- ・1/15(水) 17時~20時  
成増アクトホール

### ○ 図書館跡地に音楽ホールを!

ピアニストの滝澤三枝子さんの陳情は400筆以上の署名を集めて出されましたが、やはり不採択にされました。議員の理解はあまり進んでいませんが、区民の賛成はますます多くなっています。2月の陳情の機会に向けて努力していますが、署名の集め方には工夫が要るので、良い方法を検討中です。

### ○ 板橋区の都心低空飛行の勉強会

#### 「板橋の空を考える」対話集会

時 2020年1月12日(日)

13時30分~16時

所 「まなぼーと成増」2階ホール南

成増駅 徒歩7分

Tel. 03-3975-9706

講演 杉江 弘(航空評論家 元日航空機長)

参加費 無料

企画 いたばしの空を守る会

主催 対話をすすめる市民有志

頭の真上を通るというのに、まだ実感がわかず、常盤台の人達はのんきにしているようです。外国旅行に便利だから賛成、豊かな生活のためには仕方が無い、などと根本を忘れた理由で考えていませんか。

この集会は、そう言うのんきな人達のために板橋区に航空評論家を招いてする勉強会です。

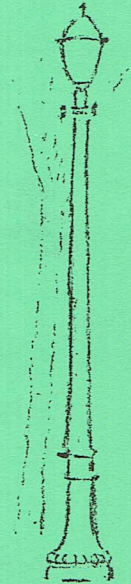
今まで航空路とは無関係で、閑静な住宅地であった常盤台が、南風時15時~19時の良い天気の際に、2分に1機と言う頻度での飛行機の轟音にさらされることになるのです。

あなたは本当に解っているのでしょうか?



# プロムナードの街路樹と 街灯の変遷

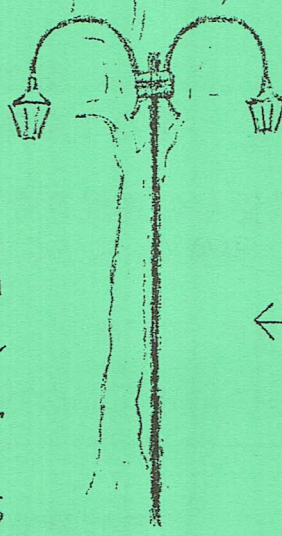
街灯の変遷



昭和11年～  
(1936～)



昭和49年以前  
(1984年以前)



平成2年ごろ～現在  
(1989年ごろ～)

両側の道を照らすため  
街路樹の成長に従って対応  
して来た事が分る。

## 区の提案する街灯



## プロムナードの街灯と

### 石井幹子さんの要請

世界的な照明デザイナーの石井幹子さんは、今、読売新聞に連載中の文章（「時代の証言者」欄）の中で、少女時代を過ごした常盤台に言及されています。

以前「まちづくりニュース」118号と121号に四回に分けて「私の故郷・常盤台」という題で御寄稿いただいたご縁から、今回のプロムナードの照明整備工事についての意見書をお願いしたところ、なんと直接区長に会って要請して下さいました。

十年ほど経つての常盤台来訪でしたが、前回果たせなかった旧宅の訪問も、kさんのご厚意で家の中も庭も見ることができて満足して帰られたと思います。随所に昭和初期の匠のわざを残した家を、kさんが現在まで大事に保全していらつしやることに感動しました。

この結果は区長の英断にかかっているようです。常盤台の特長であるプロムナードに、管理しやすいから、明るければ安全だから、廉価だから、と言う理由で高速道路のような街灯が並んでよいものでしょうか。

何十年も持たせるものになるのであれば、景観重点地区としての配慮が必要だと思います。

更に願うことならば、常盤台全体を今プロムナードにあるようなクラシックな街灯にしたうら、どんなに素晴らしい景観になることでしょう。板橋区全体にとってもレベルアップになる計画だと思えます。

## 常盤台公園のはなづくり

今年の苗の支給には、いつも大量に注文するストックが入っていませんでしたので、何株か自前で購入しました。香りの良さ、耐寒性など、冬の花壇には最適なのです。Tさんの推測では、今年の台風でストックの栽培農家が被害を受けたのではなにかというのです。

チューリップの球根が眠っている上にビオラが点々と植えられました。

密植しないのはそれなりの理由もありまして、それぞれの株がのびのびと大きくなるのを期待しているのです。なんとなくんだか予算をケチっている言い訳みたいですが、あれだけの面積を覆い尽くすことは、かなりの支出となり、皆さんからのご寄付を預かっていると勿体なくできないのです。

前号でも書きましたが、公園の木が少なくなり、その影響で来年の夏の暑さほどの位になるのか不安です。

駅前ロータリーのヒマラヤ杉とケヤキの大木の下に来ると、一瞬森の中に入ったような幸福を感じるのですが、もっと樹影の深いはずの公園が大風の被害を避けるためとは言え、寂しい感じになるのは残念です。

